

## 居場所実施者からの意見（概要）

## 【寄せられた意見】（Web 回答 4 件）

- 杉並区の「子どもの居場所づくり基本方針」は、地域の声をしっかりと反映している点が素晴らしいと感じました。子どもたちが安心して過ごせる場所を提供するだけでなく、地域全体で支えるという理念がしっかりと根付いているのが伝わります。特に、さまざまな家庭環境にいる子どもたちに対して公平な機会を与えるという姿勢は、とても重要だと思います。
  - そのうえで、もう一步踏み込んでいただきたい点として、「子どもと大人の触れ合い」にももう少し焦点を当ててほしいと感じました。子どもの記憶に残るのは、居場所そのものだけでなく、そこで関わった大人たちとの交流や経験です。子どもたちが触れ合う大人たちの影響は、将来にわたって大きな意味を持つことが多いです。信頼できる大人とのふれあいや、多世代の交流ができる場があると、子どもたちの成長にさらなるプラスの影響を与えられると思います。
  - したがって、居場所づくりの中で、単に場所を提供するだけでなく、子どもたちが大人との関わりを深められる機会を意識的に作り出すことができれば、より充実した取り組みになるのではないのでしょうか。そうした関係性が、子どもたちの未来に良い影響を与えられると思います。
- 
- 心身の安全、心理的安心と同じように、こどものための面積スペースなどの確保についても大事かと思っています。
  - また、こども食堂のように民間事業者へも事業項目やネットワーク構築のための支援検討が明記されるとありがたいです。
- 
- いろいろな居場所があると思いますが、私たちのやっている食堂や小学校での朝の居場所づくりなどに参加しておもうことは、区の十分な予算が無いことをいつも感じています。毎回いつも会合で意見していますが、区の「ふるさと納税」に対する対応に対して疑問に思っています。ただ黙って他所に寄付されることを黙認するのではなく、アクションを起こしてはどうでしょう！
- 
- 日々子ども達と過ごしている方々の意見を尊重した方針になったらいいと思います。